

東北・北海道ブロック

平成 20 年度東北・北海道精神保健福祉センター協議会報告

平成 20 年度の開催県は福島県で、畑所長をはじめとする福島県精神保健福祉センターのみなさまの運営で以下のように、ブロックの所長会総会、職員の事業情報交換会、研究協議会が開催され、活発な意見交換がなされました。なお 6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震のために、岩手県の黒澤所長が出席できない状況でしたが、これらの災害時のこころのケア活動についても急遽意見交換を行いました。

1 . 所長会総会の開催

(1) 日時 平成 20 年 6 月 26 日 (木) 14:00 ~ 17:00

(2) 場所 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま

おもな議事

事業、予算等の協議

障害者スポーツ大会について

自殺予防対策

センターのあり方

・ 秋田県 (移転を巡っての経験から)

・ 札幌市 (大都市センターの課題)

・ その他各センターの実状や悩み

その他、センター業務に関わる情報交換など

・ 岩手・宮城内陸地震の現状

2 . 職員事業情報交換会の開催

(3) 日時 平成 20 年 6 月 26 日 (木) 14:00 ~ 17:00

(4) 場所 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま

3 . 研究協議会の開催 (別紙参照)

(5) 日時 平成 20 年 6 月 27 日 (金) 9:00 ~ 12:00

(6) 場所 福島市三河南町 1-20 コラッセふくしま

平成20年度東北・北海道精神福祉センター研究協議会プログラム

9:00 開会

挨拶 福島県精神保健福祉センター長

9:05~9:45 座長 有海 清彦 (山形県精神保健福祉センター所長)

No	演 題	所 属	発表者
1	精神障害者退院促進支援事業について ~2年間の取り組みから~	仙台市	平泉 武志
2	災害時こころのケアに関するアンケート調査について ~大船渡市赤崎地区での調査結果から~	岩手県	大向 幸男
3	こころの健康づくり相談事業「こころの電話」の取り組み ~平成16年度から4年間の実施状況~	秋田県	湯澤 秀子

9:45~9:55 質疑応答

9:55~10:35 座長 築島 健 (札幌市精神保健福祉センター所長)

4	当センターにおける青年期ひきこもりケースの精神医学的背景について	山形県	橋本 智香子
5	青年期ひきこもりグループワーク事業5年間の経過	福島県	中島 紀子
6	札幌市における社会的ひきこもり支援の10年間 ~特に広汎性発達障害者支援の視点から~	札幌市	藤島 和志

10:35~10:45 質疑応答

10:45~10:55 休憩

10:55~11:35 座長 田辺 等 (北海道立県精神保健福祉センター所長)

7	北海道の保健所における自殺関連相談支援の取り組み ~過去2カ年の実績調査から~	北海道	志村 幸恵
8	宮城県における自殺対策について ~3年間の取り組みと今後の課題~	宮城県	粕谷 祐子
9	青森県における自殺対策の現状と課題 ~平成19年度の活動を中心に~	青森県	岩谷 玲子

11:35~11:45 質疑応答

11:45 閉会

【関東・信越ブロック】

平成20年度 関東信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会報告

1 はじめに

本会は新潟県、新潟市、長野県、栃木県、群馬県、茨城県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉県、千葉市、埼玉県、さいたま市、東京都（都立精神保健福祉センター、中部総合精神保健福祉センター、多摩総合精神保健福祉センター）の16ヶ所の（総合）精神保健福祉センターで構成されている。

センター業務における技術の向上と情報交換を図り、地域精神保健福祉の推進、連携に資することを目的に年1回開催。平成20年度は千葉県精神保健福祉センターが事務局を担当した。

2 開催期日 平成20年12月11日(木)～12日(金)

3 会場 ホテルプラザ菜の花

4 プログラム

(1) 全体会 I

講演 「マディソンモデル活用事業とACT-Jについて」

講師 国立精神・神経センター精神保健研究所 社会復帰相談部長 伊藤 順一郎

- 内容
- ・入院生活から地域中心の精神保健医療福祉を展開するために必要なものは、「適切な居住プログラム」「就労支援」「ピアサポート」そして「生活の場に出向く医療的関与」。生活の場での医療的関与には「生活圏への訪問型サービス（アウトリーチ）」「ケアマネジメント」「多職種のチームないし強い連携関係」が必要。この必要性を訴える（発信する）ことを精神保健福祉センターにはお願いしたい。
 - ・「マディソンモデル活用事業」は健康福祉千葉方式として県単事業で3年間実施。ここで、ACT-J（包括型地域生活支援プログラム）の研究事業を実施。ACT-Jは訪問看護ステーションの多職種版（包括的支援システム）と考えてよい。研究の結果から入院日数が減ったという事実もあり、今後も点の支援を面の支援となるよう病院、ACT-Jも数々のチャレンジをしていきたい。

(2) 全体会Ⅱ

- 報 告 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例について」
講 師 千葉県健康福祉部障害福祉課 副参事 横山 正博
内 容 千葉県における条例は平成19年7月から全国で始めて施行されたが、講師からは政策実施に向けての政策マネジメント手法についてと、条例の具体的内容について話があった。

(3) 分科会

第1分科会「自殺予防対策について」

各センターから組織、研修、相談対応、遺族支援等についての現状報告の後、センターと主管課との役割分担や取り組みの課題等について意見交換

第2分科会「医療観察法への関わり」

各センターの取り組み状況を報告後、個人情報管理について、本庁とセンターの役割分担、遠方入院への対応等について意見交換

第3分科会「退院促進支援事業・地域生活移行支援」

各センター共通の課題4点（精神科病院との連携と対象者の掘り起こし、圏域・県域を超えての支援、センターと保健所の役割、個別支援・支援体制の構築・受け皿の問題）について意見交換

第4分科会「災害時心のケア・被害者支援について」

新潟県から中越沖地震の際の取り組みについて、東京都立中部から被災地支援の取り組みについて報告があった後、他の出席自治体からの報告もあり、そこから出た課題について意見交換

(4) 全体会Ⅲ

各分科会からの報告

【中部・近畿ブロック】

平成 20 年度 第 1 回中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会

日時 平成 20 年 9 月 26 日（金）
14 時～17 時

場所 愛知県精神保健福祉センター
研修室

1 開会

2 あいさつ等

- (1) 増井 恒夫 愛知県精神保健福祉センター所長
- (2) 山下 俊幸 会長（京都市こころの健康増進センター所長）
- (3) 松本 晃明 常任理事（静岡県精神保健福祉センター所長）
- (4) 出席者自己紹介

3 議 題

- (1) 協議事項について
 - 1 中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会の今後の開催場所、開催方法について（静岡県）
- (2) 照会事項について
 - 1 自死遺族団体への支援について（富山県）
 - 2 CRTの隊員募集の具体的方法について（石川県）
 - 3 精神障害者保健福祉手帳への偽造への対応について（京都市）
偽造防止への取り組み事例
手帳偽造等による告発事例
 - 4 自立支援医療(精神通院)制度に係る独自施策について（京都市）
独自施策の実施状況
21年度に向けた独自施策の継続等の方向性
 - 5 自立支援協議会における「精神保健福祉センター」の役割について（浜松市）
（地域）自立支援協議会への参画
参画している場合の役割（目的）
 - 6 措置業務担当部署について（浜松市）
法第 23 条(一般人の申請)の対応について
申請等件数
 - ・ 19 年度の法第 23 条(一般人の申請)申請の受付件数
 - ・ 受付件数のうち法第 27 条第 1 項（指定医の診察）の診察件数
 - ・ 診察件数のうち法第 29 条(措置入院)の入院件数

- 法第 27 条第 1 項(指定医の診察)の診察場所
法第 23 条(一般人の申請)で苦慮したケース
- 7 精神障害者地域移行支援特別対策事業の協議会と地域自立支援協議会との連携及び協議会の中でのセンターの役割について (愛知県)
- 8 電話相談員の養成について (愛知県)
電話相談員の募集
電話相談員への研修

平成 20 年度 第 2 回中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会

日時 平成 21 年 1 月 30 日(金)
14 時 40 分～17 時
場所 浜松市地域情報センター
会議室

1 開会

2 あいさつ

- (1) 二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター所長
(2) 山下 俊幸 会長(京都市こころの健康増進センター所長)
(3) 松本 晃明 常任理事(静岡県精神保健福祉センター所長)

3 議 題

- (1) 協議事項について
1 中部・近畿ブロック精神保健福祉センター長会のあり方について (静岡県)
- (2) 照会事項について
1 各自治体の自殺対策協議会のおおよその現状と各精神保健福祉センターとの関係、協働等について (岐阜県)
2 統合失調症、アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル依存症に対する取り組み状況について (静岡市)
3 地域自殺予防情報センターの実施予定について (静岡市)
4 復職相談の取り組みについて (静岡市)
5 「精神保健福祉ボランティア全国のつどい」を開催する際のセンターの役割について (愛知県)
6 地域移行支援事業(退院促進)において、ピアサポーターがどのように活用されているか (愛知県)
7 医療保護入院において保護者が死亡した場合の保護者変更の手続きについて (京都府)
8 各区保健所(各区保健福祉センター等)におけるデイケア(グループワーク等)

- の実施状況について (京都市)
- 9 ひきこもり相談・支援対策の取り組みについて (大阪市)
- 10 心神喪失者等医療観察法への精神保健福祉センターの関与のあり方について (神戸市)

4 センターの特色や成功した事例について

- (1) 自殺予防対策、アルコール関連問題対策 (岐阜県)
- (2) 「富士モデル事業」- 産業都市・富士市における働き盛り世代の自殺予防対策 - (静岡県)
- (3) 中小規模事件事故に伴う危機介入について (静岡県)
- (4) インターネットを利用した「Eメール相談」の実施 (愛知県)
- (5) 精神障害者家族交流大会の開催、ケースワークの連携 (名古屋市)
- (6) 相談業務プロセスの見直し～「リスナー」の力とともに～ (三重県)
- (7) 滋賀県『報道と精神障害を考えるシンポジウム』について (滋賀県)
～ 偏在する情報と精神障害者について考える～
～ Anti-prejuice(アンチ プレジュディス)のために～
- (8) ストレス対策事業 (富山県)
- (9) 自死遺族交流会の実施、ひきこもりの当事者グループ・家族教室等の実施、
DV 抑止男性相談事業 (石川県)
- (10) ひきこもり対策事業(フリースペース開催) (福井県)
- (11) 「京都府こころの健康推進員」の設置について (京都府)
- (12) 「就労準備デイ・ケア」 (京都市)
- (13) 「精神障害者権利擁護システム事業」について、地域支援について、広汎性発達
障害への取り組み、ストレス対策事業について (大阪府)
- (14) 精神科救急医療体制について (大阪市)
- (15) 「家庭内暴力家族の会」について (兵庫県)
- (16) CRT 派遣業務について (和歌山県)

5 講演

大規模災害時における「こころの支援」

「中越地震・中越沖地震における精神保健医療活動をふりかえる」

講師 新潟市こころの健康センター所長 福島 昇

平成 20 年度 中部ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

日 時 平成 20 年 7 月 10 日 (木)

14 時 ~ 17 時

平成 20 年 7 月 11 日 (金)

9 時 ~ 11 時

場 所 浜松市精神保健福祉センター
会議室 2

参 加 三重県、岐阜県、福井県、
山梨県、富山県、愛知県、
石川県、静岡県、名古屋市、
静岡市、浜松市

1 開会あいさつ 二宮 貴至 浜松市精神保健福祉センター所長

2 参加者自己紹介

3 議題

(1) 協議事項について

1 提出なし

(2) 情報交換事項について

1 精神医療審査会の運営要綱について (静岡県)

2 精神医療審査会の定期の報告等審査結果が「現在の入院形態の入院が適当と認められる」以外の結果が出された場合の通知文が定められているか (静岡県)

3 精神医療審査会について(退院請求の期間短縮、受理通知) (三重県)

4 精神医療審査会の意見聴取時の委員の個人情報保護について (名古屋市)

5 退院または処遇の改善請求があった場合の意見聴取後の報告書作成等について (愛知県)

6 精神医療審査会のマニュアルにある都道府県知事の行う事後処理について (静岡県)

7 市外に住所がある者が、本市で入院した場合の入退院届、定期病状報告等の情報提供について (浜松市)

8 障害者手帳交付申請の添付書類(障害者年金証書等)不備への対応等について (愛知県)

9 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療(精神通院医療)公費負担の判定業務の状況について (山梨県)

- 10 「自立支援医療費(精神通院医療)支給認定実施要綱」第4の4における「精神通院医療を受ける指定自立支援医療機関については、医療に重複がなく、やむを得ない事情がある場合、複数指定することを妨げない」の運用について (静岡県)
- 11 退院促進支援事業について (山梨県)
地域移行支援事業に伴う従来の退院促進支援事業の実施体制や事業内容からの変更点や新たな取り組みについて (愛知県)
精神障害者地域移行支援特別事業の精神保健福祉センターの技術支援や教育研修内容について (石川県)
- 12 地域移行支援事業(退院促進)におけるピアサポーターの研修の開催とその活用について (愛知県)
- 13 精神保健福祉相談の日時、担当割り振りについて、医師の診察について(三重県)
- 14 聴覚障害者の来所相談への対応について (石川県)
- 15 メールで寄せられる心の相談の対応について (富山県)
- 16 自死遺族相談(専門窓口開設の上での相談)の開設状況について (愛知県)
- 17 「自殺」「ひきこもり」関係で、保健所等地域でネットワークを構築したい策を検討している地域があったら、その状況について (愛知県)
- 18 ひきこもり訪問サポーター養成の実施状況について (愛知県)
- 19 当事者活動についての精神保健福祉センターの関わりについて (山梨県)
- 20 普及啓発のためのパンフレット、機関紙等の工夫について (石川県)
- 21 こころの緊急支援チーム(CRT)について (石川県)
- 22 精神科救急医療体制の実施について (山梨県)
- 23 かかりつけ医うつ病対応力向上研修の実施状況について (山梨県)
- 24 精神保健指定医会議の開催について (静岡県)

4 閉会

平成20年度 北陸ブロック精神保健福祉センター連絡会

日 時：平成21年3月6日（金）

14：30～17：00

場 所：富山県心の健康センター
2階 会議室

1 協議事項

- 1 自殺予防に関する民間団体（いのちの電話等）との連携について （福井県）
- 2 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定における指定自立支援医療機関の複数指定について （石川県）

2 照会事項

- 1 自立支援医療費（精神通院医療）支給認定事務における「世帯」の認定について （富山県）
- 2 脳腫瘍により「てんかん」や「高次脳機能障害」の状態になった方に対する自立支援医療認定について （福井県）
- 3 セルフヘルプグループの活動状況について （石川県）
- 4 「ひきこもり地域支援センター」の設置について （石川県）
- 5 外国人からの相談状況と対応について （富山県）
- 6 精神医療審査会に係る審査のガイドラインについて （富山県）

平成 20 年度 東海ブロック精神保健福祉センター連絡協議会

日時 平成 21 年 3 月 6 日(金)

場所 三重県こころの健康センター
図書資料室

参加 岐阜県、愛知県、静岡県、
三重県、静岡市、浜松市、
名古屋市

1 開会あいさつ 崎山 忍 三重県こころの健康センター所長

2 参加者自己紹介

3 情報交換

- (1) センターに勤務する職員のスキルアップを図るためのプログラムについて (静岡県)
- (2) 保健所等への技術・支援の体制と方針について (静岡県)
- (3) ひきこもり支援センターの設置状況について (岐阜県)
- (4) 心神喪失者等医療観察法への精神保健福祉センターの関わりの現状及び課題について (三重県)

4 閉会

〔中国・四国ブロック〕

平成20年度中国・四国精神保健福祉センター所長及び同主管課担当者合同会議

日 時：平成20年9月2日（火）～9月3日（水） 場 所：サンポートホール高松（香川県高松市）
--

第1日目

【開会】

挨拶 香川県健康福祉部障害福祉課長 川田 浩司氏
香川県精神保健福祉センター所長 藤岡 邦子氏

【講演】

「精神保健福祉の最近の動向
～地域生活への移行を中心に～」
講師 厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 障害福祉課
地域移行支援専門官 武田 牧子氏

【分科会】

分科会A 「自殺予防対策について」
司会：青木所長（島根県）・河野所長（山口県）
分科会B 「地域移行支援事業について」
司会：石元所長（徳島県）・山崎所長（高知県）
分科会C 「審査判定業務について」
司会：藤岡所長（香川県）・原田所長（鳥取県）

第2日目

【部会討議】

・センター所長部会
司会：藤岡所長（香川県）・衣笠所長（広島市）
・主幹課部会
司会：川東課長補佐（香川県）・長妻主査（広島市）

【閉会】

挨拶 藤岡所長（香川県）・次期開催市（広島市）

【九州ブロック】

平成20年度九州ブロック精神保健福祉センター所長会及び研究協議会

日時:平成21年2月5日(木)・6日(金)

1 参加

福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 北九州市 福岡市

2 プログラム

1日目 研究協議会 九州ブロックセンター所長会 場所:くまもと県民交流館パレア

2日目 国立病院機構 菊地病院「ウィング6」(医療観察法に基づく病棟) 見学

3 研究協議会議題

(1)協議事項

1 精神医療審査会について

1-1	宮崎県	医療保護入院に係る保護者選任について
1-2	沖縄県	医療保護入院届への「自傷他害」記載について

2 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療について

2-1	佐賀県	自立支援医療(精神通院医療)の判定に苦慮する事例についての判定基準について
2-2	北九州市	精神障害者保健福祉手帳における高次脳機能障害の診断名について
2-3	鹿児島県	自立支援医療(精神通院)における高次脳機能障害の認定の範囲について

3 自殺対策について

3-1	鹿児島県	自殺予防九州・沖縄・山口一斉電話相談について ①H20年度実施の成果と問題点 ②H21年度以降実施するかどうか、実施するとすれば、誰が、どのようにするか。→ 所長会議での検討を
-----	------	--

4 センターの運営について

4-1	鹿児島県	当番県を決めて、年度初めに各センターの下記情報をとりまとめるようにしたらどうか①連絡先・担当者名 ②組織・人員 ③前年度実績(主要項目)
-----	------	--

(2)情報交換

1 精神医療審査会について

1-1	佐賀県	法34条移送による医療保護入院等の入院届の精神保健指定医署名について
1-2	長崎県	重度の認知症で中核症状以外の精神症状や問題行動がないケースの審査の取り扱いについて

2 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療について

2-1	福岡県	自立支援医療の有効期限切れの更新について
2-2	宮崎県	自立支援医療におけるデイケアの追加について

3 自殺対策について

3-1	福岡県	自死遺族支援の取組状況について
-----	-----	-----------------

4 その他の事業

4-1	福岡県	医療観察法の地域処遇(地域ケア会議)における精神保健福祉センターの参加状況や役割等について
4-2	福岡県	精神障害者の就労支援に対する精神保健福祉センターの関わりについて
4-3	佐賀県	センターにおける研究の取組について

5 センターの運営について

5-1	鹿児島県	各県の最新の①精神保健福祉センター設置条例、同規則 ②センター運営要綱 ③事務処理要領などを提供していただきたい
5-2	熊本県	各県・市精神保健福祉センターの組織機構及び人員を御教示ください

【大都市部会】

大都市部会は、政令市及び東京都のセンターにより構成され、大都市特有の課題につき協議・情報交換する。平成15年度（2004年2月）からは年2回（7月と2月）開催しているところであるが、平成20年度は、17政令市（当時）と東京都に加え、岡山市がオブザーバーとして参加した。例年、大都市部会には各自治体とも大変前向きに参加し、20年度も全ての自治体から所長もしくはその代理者の参加が得られた。

20年度は施行されて2年が経過した障害者自立支援法の障害福祉サービス支給に関するセンターのかかわり、自殺対策、引きこもり対策等につき情報交換した。新しい課題が目白押しの中、統合失調症や依存症等に対する基本とも言うべき取組について、改めて意見交換する必要もあった。この中では、精神通院医療の審査判定の取り扱いなど、必ずしも大都市のみに限らない全国普遍的な課題についてもこの場で意見交換がなされた。大都市部会からセンター長会全体への発信機能についても、今後の課題となるかもしれない。

今や、日本国民の5人に1人（東京都を含むと国民の3割超）は政令指定都市に在住している。障害者自立支援法、介護保険法、医療法における大都市の権能の制限、自殺対策における国からの予算配分の不合理等、大都市においては住民に対する責任を自ら果たすことに若干の困難を感じることも多くなってきている中で、積極的な協議や情報交換を通じて、個々の課題を前向きに解決してまいりたい。

平成20年度第1回

日 時：平成20年7月24日（木）10時30分～13時30分

会 場：アジュール竹芝

出席者：築島所長（札幌市）、林所長（仙台市）、黒田所長（さいたま市）、田中補佐（千葉市）、益子所長（東京都立）、伊藤所長、岡部課長補佐（川崎市）、白川所長（横浜市）、福島所長（新潟市）、佐野所長（静岡市）、二宮所長（浜松市）、新畑所長（名古屋市）、山下所長、加賀山次長（京都市）、古塚所長（大阪市）、森川所長（堺市）、柿本所長、村上主査（神戸市）、谷山課長、櫻井補佐（広島市）、三井所長（北九州市）、西浦所長（福岡市）、桑原所長（神奈川県；センター長会副会長）、大田原主査（岡山市；オブザーバー）

当番市：神戸市

照会事項

1. 精神障害者の障害福祉サービス地域生活支援事業（移動支援）について
2. 発達障害者の障害福祉サービス（居宅介護）支給について
3. 精神障害者の障害福祉サービスに係る意見（障害者自立支援法第22条第2項、精神保健福祉法第6条第2項第5号）について
4. 社会的引きこもり相談について

5. 精神障害関係主管部局とセンターとの業務分担について
6. 障害福祉計画における「入院中の退院可能精神障害者数の減少目標値」の達成値の把握について
7. 精神障害者保健福祉手帳交付者に対する福祉施策について

平成20年度第2回

日 時：平成20年2月26日（木）13時30分～16時30分

場 所：全国都市センターホテル

出席者：築島所長（札幌市）、林所長（仙台市）、黒田所長（さいたま市）、井上所長（千葉市）、益子所長（東京都立）、多田主幹、岡部課長補佐（川崎市）、白川所長（横浜市）、福島所長（新潟市）、根本参事兼統括主幹（静岡市）、二宮所長（浜松市）、新畑所長（名古屋市）、山下所長（京都市）、古塚所長（大阪市）、小出次長（堺市）、古川副所長（神戸市）、久保田次長、櫻井課長補佐、夏目主事（広島市）、濱岡係長（北九州市）、西浦所長（福岡市）、大田原主査（岡山市；オブザーバー）

当番市：広島市

協議事項

1. 自立支援医療（精神通院医療）の審査判定会におけるアリセプト（塩酸ドネペジル）の取り扱いについて

照会事項：

1. 発達障害者に対する居宅介護支給について
 - ①導入事例
 - ②導入目的、評価、体制等
- 2 - 1. 統合失調症、アルコール依存症、薬物依存症、ギャンブル依存に対する取り組み状況について
- 2 - 2. 地域自殺予防情報センターの実施予定について
- 2 - 3. 復職相談の取組について
3. 退院等の請求に係る精神医療審査会の審査結果及びこれに基づき採った措置の通知方法について
4. 各保健所（各保健福祉センター等）デイケア（グループワーク等）について
5. ひきこもり相談・支援対策の取組について